

日本気象学会 気象災害委員会 「5月6日の茨城・栃木の竜巻に関する調査研究報告会」 プログラム

開催日時: 2012年5月27日(日)18時～21時

会場: 気象学会春季大会会場 C会場(中会議室201)
つくば国際会議場(エポカルフくば: 茨城県つくば市竹園2-20-3, <http://www.epochal.or.jp>)

開催通知

5月6日に常総市～つくば市、真岡市～常陸大宮市、筑西市～桜川市を中心として発生した竜巻群は各地に甚大な被害をもたらしました。発生直後から多くのグループが被害調査やモデル研究などに着手されています。気象学会気象災害委員会ではこの日の竜巻を中心として、竜巻に関する緊急の研究報告会を春季大会期間中に開催します。

開場・受付 17:45～

開会挨拶

藤部文昭

日本気象学会気象災害委員/
気象庁 気象研究所
環境・応用気象研究部 室長

講演 I 司会: 楠 研一(気象庁 気象研究所 研究室長)

「竜巻研究の課題と今回の竜巻の特徴」

新野宏

日本気象学会理事長/東京大学
大気海洋研究所長

「2012年5月6日に茨城・栃木・福島県で発生した竜巻の調査結果概要」

鈴木修

気象庁 観測部 観測システム
運用室長

「二重偏波ドップラーレーダーで捉えた竜巻渦」

山内洋

気象庁 気象研究所 気象衛星・観測
システム研究部 主任研究官

「2012年5月6日つくば市の竜巻における親雲の構造について」

鈴木真一

防災科学技術研究所 観測・予測
研究領域 水・土砂防災研究ユニット
主任研究員

「発生環境場、佐呂間竜巻との比較と250m数値シミュレーションの結果」

加藤輝之

気象庁 気象研究所
予報研究部室長

休憩

講演 II 司会: 石原正仁(京都大学 学際融合教育研究推進センター 特定准教授)

「上空からみた被害の特徴」

小林文明

防衛大学校教授

「つくば竜巻の現地調査に基づく下層風の推定」

佐々浩司

高知大学 教育研究部教授

「茨城県つくば市内における建築物被害の概要」

喜々津仁密

建築研究所 構造研究グループ
主任研究員

「2012年5月6日関東地方における竜巻の発生環境場とポテンシャル予報について」

櫻井溪太

日本気象株式会社 予報課

総合討論